

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【公開番号】特開2007-53818(P2007-53818A)

【公開日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-008

【出願番号】特願2006-316107(P2006-316107)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/18 D

H 0 4 N 7/18 U

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月7日(2008.11.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

同一の撮像素子から高精細画像と該高精細画像より精細度の落ちる中精細画像とを出力する電子カメラで撮像された画像を記録する画像記録装置において、

入力された前記中精細画像に基づいて物体を検出する画像認識手段と、

入力された前記高精細画像及び前記中精細画像を圧縮する画像圧縮手段と、

画像に基づいて物体が検出された場合に、前記画像圧縮手段により圧縮された前記高精細画像及び前記中精細画像を、それぞれ第 1 の毎秒こま数及び第 2 の毎秒こま数で記録する記録手段と、

オペレータにより非常ボタンが押された場合に、所定時間、前記第 2 の毎秒こま数より高い毎秒こま数で前記画像圧縮手段により圧縮された前記高精細画像を記録するように制御する録画制御手段と、

を備えたことを特徴とする画像記録装置。

【請求項 2】

同一の撮像素子から高精細画像と該高精細画像より精細度の落ちる中精細画像とを出力する電子カメラで撮像された画像を記録する画像記録装置において、

入力された前記高精細画像及び前記中精細画像を圧縮する画像圧縮手段と、

センサからの信号を入力するセンサ信号入力手段と、

センサからの信号が入力された場合に、前記画像圧縮手段により圧縮された前記高精細画像及び前記中精細画像を、それぞれ第 1 の毎秒こま数及び第 2 の毎秒こま数で記録する記録手段と、

オペレータにより非常ボタンが押された場合に、所定時間、前記第 2 の毎秒こま数より高い所定の毎秒こま数で前記画像圧縮手段により圧縮された前記高精細画像を記録するように制御する録画制御手段と、

を備えたことを特徴とする画像記録装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の画像記録装置において、着脱可能な記録媒体を用いた高精細画像記録手段を更に備え、

前記記録手段は、前記高精細画像を記録する高精細記録部と、前記中精細画像を記録す

る中精細記録部とからなり、前記高精細記録部は、古い記録から順次消去しながら新しい画像に書き替える動作を繰り返し、

前記所定時間は、前記非常ボタンが押されて前記所定の毎秒こま数で画像を書き替えた後に、前記非常ボタンが押される前の画像が前記高精細記録部の全容量に対して所定量残るように設定され、当該所定の毎秒こま数で画像を書き替えた後、該高精細記録部に残された画像記録を前記高精細画像記録手段に転送複写することを特徴とする画像記録装置。